第3学年 (828) (A限)

科学資金学計画作成資料(令和3年度)														H*800	立事に出たって	u. seces	CCCCTB#OF	材と担し替えたりき	材を変更したりし	てご活用ください	
		三つの資質・能力別に示した学習の目標			指導事項	教材名	学習 1 様(飲料書規載 他)			歌唱		器楽			861			指挥			
題材名	題材のねらい							主な学習の窓口 (共通事項)	7	4	ゥ	7 -	٢	2 7	٠ - ٢	2	7		1	扱い時数の 日本 (34%)	
		知識及び技能 由限と言案の構造や散探の内容及び他の言葉との関わりにつ	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等					C	7) (1)	(ア) (イ)	(7)	(イ) (ア)	(1)	(7)	(4)	(P) (4)	(ウ) (ア)	(4) (5)	HA WILL	
日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	●節房の内容や曲管から日本の家のもっ情緒を結むい、情景を思い分かながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歯部と言葉の構造や取例の内容及び歯の背景との間のりについて関係する(切開) がて関係する(切開) 創修工夫を生かした表現で取っために必要な発用、悪悪の発 策。身体の使い方などの技能を身と付ける。(技能)	情色、リスム、選集、強等を収定し、それらの機能が企会は、 学科質や容器を受しながら、現分したことを受したことを受したこと ととの関わりについて考え、他にふるわしい感情表現を創意 工夫する。(思考力、判断力、表現力等)	機型と需要の構造や管理のが存立が通の背景との限りのに関心 をもち、音楽高が表したながらもあり、影像的に影響の子習 活動に取り揺む。(学びに向かうカ、人間性等)	A 86 TE (1) 10 SE	心の歌 花 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして蒙おう。	旋律、強弱	.												
						My Voicel	豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう! 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。	88													
日本の歌のよるヤ美しるを味われ、家族を工大しよう						DINGO GAME	開京をおいけが、(40°0、家園並がに取るつ。 会立 む品かどのを前を確認しましょう	リズム、強器												~	
						心の歌 早春賦 (共通教材) BINGO GAME RHYTHM GAME	音符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	リズム	1												
	●血液を延わい、言葉の特性を理解して、血によるわしい高限を工夫して表よ。	①曲想と音楽楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり について理解する。 (知識)	自也、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが	7人、連集 施工報告記載し、年から企業が 施工業を必要が関係が関係を関係している。 2月1日 日本の大学 (日本の大学	A A 表現 (1)歌唱 ア イ (ア) (イ) ウ (ア)		曲等を生かして実施豊かに収おう。	港皮、炭津、強将													
		創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発 言、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (技能)	したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい散場表現																		
曲等や描感を生かして、表現を工夫しよう		西、身体の吹い力などの技能を身に行いる。(技能) ②声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関	在前部上大学 G。(18号7)、中间7)、数据7号)			帰れソレントへ															
		わりについて理解する。 (知識)																			
									0 0	0	0									3	
						Yesterday	英語の語感と曲の雰囲気を生かして歌おう。	音色、リズム、旋律													
		①金額と含素の構造との関わりについて理解する。(知識)	MA UTI MIN DATE TOME THEORY	Tarte Language Logic During Tarte and Section 1						-					-					₩	
A .	●様々ながだ。2一番高の特徴や需要を占えることで言葉の分類性を 関係し、そのようが見しを始わいなが必要く、 ●他他の反応を知らい、質似の例かを配さるシレフプスが毎年で とした。 とした。 として必要がある。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		関係、リズム、原来、アクステープを採択し、それらの最 があると可能性が関係的といるが、原因した。最か意味、 がなしたことものかりについてせるなととした。自か意味、 が終しています。 (18号九、物館)、 現場の物 (4報わって限く。(18号九、物館)、 現場の物 (2月の) (18号九・物館)、 現場の物 (2月の) (18号九・物館)、 現場の物 (2月の) (18号九・物館)、 現場の物 (2月の) (18号九・の間としなどなり音楽・物画的に ので質言素形におり感じ、(デジに対から)、 外間物制	みながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り終む。(学び	o o																
		企業品の特殊とその研究となる文化や歴史、他の英樹との関 りりについて理解する。(知識)																			
				ち B塩黄 (1)塩黄 ア (ア) イ (ア) (イ)	〇ポピュラー音楽	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	音色、リズム、旋律、テクスチュア														
THE STATE OF THE S																0	0	0			
ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう		ا :		「中心」 自然と認める数字をある可言との知り方に思わせると「自然工 見した」 物を最上み出が立ち参り、場際にを基の学習工能に取り組 し、(ザリに対から力、人間等)					ļ ļ		ļļ	11	ļļ				ļļ		ļl		
		() 競技と音楽の構造や面の背景との向わりについて理解する。 (知識)	、也、リ人ム、テクスチェア、お式、構成を知見し、それら の動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したこ 更		A表現 (2)番楽 ア (ア) ウ (ア) (イ)	◇テキーラ (p.54) 曲の情点を生かしてリズム保養を工夫し														4	
		副恵工大を生かした表現で演奏するために必要な美法、身 体の使い方などの技能を身に付ける。 (技能)	名字表現を創意工夫する。(思考力,判断力,表現力等)				曲の構成を生かしてリズム伴奏を工夫しよう。	音色、リズム、テクスチュア、形式・横印	a .										, '		
4		②曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解す										.									
		る。(知識) 創能工夫を主かし、会体の響点や各声彩の声などを聴点なが ら他者と会わせて演奏する技能を身に付ける。(技能)										0 0	0 0	0							
							パートの役割を限禁して、曲にふさむしい表現を工夫して含奏しよう。	音色、リズム、装律、テクスチュア													
						♦Yesterday (p.76)															
意理や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう	●医療の胸障や音楽の特徴を生かして、表現をエ夫しながら設定をつく さ。	倉階や言葉などの特徴及び含のつながり方の特徴について理	リズム、原律を知覚し、それらの働言が生み出す特質や雰囲気 育局 を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりに ち、ち、こ コいて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。(思 考力、平面力、表現力等)	国際主義を対し、それらの最近で5人名で可見で容認及、国際で発展などで可能及び見つつながりの可能に関心をも は他の人となった。 は、おようなの話を創作機能を創定工作を、、(2 考え、まとなり的を創作機能を創定工作を、(2 開放、展見物)。	h A表現 (3)制作 ア イ (ア) ウ					+					+	_				₩	
		解する。(知識) 報参工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要 な、護職や条件に沿った首の選択や組合せなどの技能を身に 付ける。(技能)					y 歌詞の阿陽を生かして旋律をつくるち。	リズム、旋律													
						My Melody								0	0	0				2	
		①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに	育也、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の音景との関わりに関心	>					+					+	_				₩	
パートの役割を理解し、曲等を生かして、表現をエだしよう	●母別の内容や自然を知らい、バートの世界で高速の音の表を毛帯が し、全体の音をもありなりよがら素明を上系して作者する。	ついて理解する。 (知識) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発	生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受 したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現	をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習 活動に取り組む。 (学びに向かう力、人間性等)	A表現 (1)萎縮 ア イ (ア) ウ (ア) (イ)		の中の青春 パートの役割や旋律の首の動きを理解して会報しよう。														
		書、身体の使い方などの技能を身に付ける。(技能)	DOK.			組の中の青春		旋律、テクスチュア、強弱													
		定曲数と音楽の機能が実践の対象など曲の算要との疑わけ、 シリンで無解する。(民間) 耐意工夫を立かし、全体の著書や各井部の声などを聴きなが ら格者と合わせて歌う技能を身と付ける。(民間)																			
									0 0	>	0 0									3	
							ア カペラによる響きの美しさを味わいながら会構しよう。	言也、テクスチュア													
						フィンランディア															
		①曲部と音楽の構造との関わりについて理解する。 (知識) ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の実術との関 わりについて理解する。 (知識)	機能を知覚し、それらの歯まが生か出す特質や雰囲気を感受 しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて 考えるとともに、曲や漢英と対する評価とその根拠について 考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断 力、表現力等)	自由地と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽式動を楽し みながら上伸が一指機的に展開の予算式動に取り続む。(学び に向かうか、人間性等) ご音楽の特徴とこの背景となる文化や歴史、他の芸術との関わ りに関心をもち、音楽式動を楽しみながら主体が一指機的に 質の予算工動に取り組む。(学びに向かうか、人間性等)	D ⁴																
						〇組曲「展覧会の絵」から 娘のよさをプレ	歳のよさをプレゼンテーションしよう。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュ ア、強係、形式・構成													
			しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて																		
	●音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわ		考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割につ いて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (思考力,		日鑑賞 (1)鑑賞																
音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	り、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根 拠をもって批評するなどする。		判断力、表現力等)		B鑑賞 (1)鑑賞 ア (ア) (イ) イ (イ)				1								0 0	0	0	3	
						○ブルタバ (モルダウ)	ダウ) 歳が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。	官也、速度、旋律、強拐													
命の機能を理察して、リズムアンサンブルの機能を工夫しよう	音の組み合わせ方や重ね方など、表現を工夫してリズムアンサンブルを	音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構 成上の終帯とついて、表したいイメージと関わらせて理解す	関	音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成 トの終機に関心をもち、音楽活動を楽しみながらき体的・協動	E e		機能を含かしてリズムアンサンプルをつくさう。 本語の部か合わせカヤギの変化力をよりた工夫して、響きのおもしささを味わか														
		る。(知識) 動能工系を仕いた表現で設理や背影をつくるために必要 な、理理や条件に沿った前の選択や組合せなどの技能を身に 力、 付ける。(技能)		上の何似に向りをもら、自来当前を乗じみなから主体的・当日 的に創作の学習活動に取り組む。 (学びに向かう力、人間性 等)	、人間性 A表現 (3)前作 ア イ (イ) ウ			音色、リズム、速度、テクスチュア、集 紙、形式・構成													
				素紙の用や物はよれる用かり上昇くませる。 有品質を含め のでがから特別、実施的に対象の関係を含むに対しませます。										0		0 0					
									1		†···•	† <u> </u>	<u> </u>	†····	11	•••	!··· †··	†···- ···	†···†··	1	
				ひに向かう力、人間性等)																	
					r (r)			 育色、リズム、テクスチュア、強弱 				0	0	0							
					ウ (イ)																
					1								1 1					1 1	1 1	1	

1

三つの資質・能力別に示した学習の買標 学習口標(飲料書課數份) +な常要の寮口 (共選集項) m # 2 mittobalu ST SERVICES 数状态 知識及び技能 原考力、判断力、表现力等 学びに向かう力、人間性等 一部人 京塚万寺 南色、リズム、遠茂、森津、アクステェア、接張、形式、構 近を知覚し、それらの南さが生かが生物質が存取拡を形成し ながら、知覚したこととが見りたこととの間わりたついて寺 え、音楽のよる中央しさを味わって終く。(参考力、特徴 カース・美名から)、美術大寺 Sながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。 (学で :向かう力、人間性等) 平間「結天楽」―管核― 本の伝統芸能に襲しみ そのよさを味われる。一幅楽-色、旋律、テクスチュア ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の哀相との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に略 質の学習活動に取り組む。 (学びに向かう力、人間性等) ●裏楽や祭の音楽の特徴を、文化・歴史や物の哀荷とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから実練して、そのよさや楽しさを味わいながら思念、模様をもってを評するなどする。
 ●展にふさわしい発声や音楽の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して減っ。 「羽衣」から 日本の伝統芸能に関しみ そのよさを味われる。一般一 官也、リズム、速度、旋律 ※や他の特徴を理解して その魅力を味われる。 「羽衣」から 声や音楽の特徴を感じ取って揺おう。 育色、リズム、旋律 ③他部と音楽の構造との間かりについて程解する。(知識) 高楽素剤の共通性や部件性について考え、音楽のよまや美し 3.他部と音楽の構造との間かりに抑わてもち、音楽流巻を楽し 3.を経りつて数く。(思考力、神能力、表現力等) 4.ながら北神が、通線が上載後の子習ぶ動に取り組む。(学び に行う力、人間的に 2.作業の特徴とその音楽となる文化や歴史、他の正常との間 ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関 わりについて理解する。 (知識) ②言楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わ りに関心をもち、言楽活動を楽しみながら主体的・協奏的に属 質の学習活動に取り組む。 (学びに向かう力、人間性等) ③我が国や郷土の伝統音楽及び謎外国の様々な音楽の特徴 と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 力が回り網+の仁統含本及び諸外国の様々な含本の結構と 34以前に帰土の上的形目来及び前か回の様々な目录の付款と、 その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動 楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。 (学びに向かう力、人間性等) ・ 野の雄民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 解し、そのよさや美しさを味わいながら糖く。 ○世界の諸民族の音楽 世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。 育色、リズム、速度、旋律 「金郎生産業の機会や部分の日本力を必要さら使わりた。 者色、リズム、展度、製造、デクステェア、開発、形成、素 機能工程表がした表現であったに必要な場所、悪菌の機 度、身体の低いりなどの影響を発化性なら、(援助) 成、身体の低いりなどの影響を発化性なら、(援助) 成、表現の機能を発生があるというない。(援助) 成、表現の他に対している場合を表現を表現した。(援助) 成、表現の他に対している場合を表現を表現した。(援助) 成、表現の他に対している場合を表現している。(援助) 成の表現の他に対している場合を表現している。(援助) 成の表現の他に対している場合を表現している。(援助) 成の表現の他に対している。(援助) 成の表現の他に対している場合を表現している。(表現の) 成の表現の他に対している。(表現の) 成の表現の他に対している。(表現の) 成の表現の他に対している。(表現の) 成の表現の他に対している。(表現の) 成の表現の他に対している。(表現の) 成の表現の他に対している。(表現の) は、表現の他に対している。(表現の) は、表現の他に対している。 **京詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。** ぎみとともに **女律、949** A表現 (1)歌唱 歌い継ごう 日本の歌 市場や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で飲おう。 旋律、テクスチュア、強弱 ●教師の内容や曲想を味わい、言葉と談律とのかかわりやパートの と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と に工夫して表情豊かに合唱する。 (空無限と言案の構造や軟両の内容及び曲の背景との関わりに ついて理解する。(知識) 創意工夫を生かし、全体の響きや名声部の声などを聴きなが ら捨者と合わせて歌う技能を身に付ける。 (技能)* 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュ ア、強係、形式・構成 の通う会場 仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 物郷をするときのガイントをつかもう。 物館をしてみよう! ノズム、速度、強拐 ※国家「君が代」の指導については、各校の実際に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

2